

令和6年度 農山漁村振興交付金/農山漁村発イノベーション推進事業（地域活性化型）
「農山漁村情報発信事業」

官民のマッチングによる農業・農村の課題解決のための

市町村向け課題募集説明会

2024/ **5** / **29** (水) 14:00～15:00

ハイブリッド開催

令和6年5月
YMFG ZONE[®]プランニング

イベント内容

- 1. 開会挨拶** (14:00～)
- 2. 事業概要説明** (14:05～)
- 3. 官民共創による事例紹介** (14:15～)
- 4. 今後の事業スケジュールについて** (14:30～)
- 5. 事業参画に関する質疑応答** (14:45～)

1. 挨拶

農林水産省 農村振興局 農村政策部
農村計画課 農村活性化推進室長 朝日 健介

2. 事業概要説明

事業名

令和6年度農山漁村振興交付金/農山漁村発イノベーション推進事業（地域活性化型）
「農山漁村情報発信事業」

2. 事業概要説明

- 事務局（YM-ZOP）について



株式会社YMFG ZONEプランニング
(通称：YM-ZOP)

【事業コンセプト】

地域とともに、未来をデザインする

【概要】

山口・広島・北九州地域を中心に自治体及び地域企業と連携し、**地方創生**に向けた総合的な事業活動支援を行う

当社の考える地方創生の5つの柱

「点(個人・個社)」ではなく「面(地域・経済レイアウト、事業環境提供等)」の視点でのコンサルティング業務を展開し、地方創生のキーワードである地域・域内企業の生産性向上に資する総合的な事業活動支援を行います。



2. 事業概要説明

- 昨年度、広島県をエリアとして中山間地域の市町村課題を解決するため、民間企業等とのマッチングを促進し、伴走支援を実施

令和6年度は熊本県をエリアとして市町村の農業・農村の課題を解決するために以下の連携体制で事業を実施

(主体・事務局)

(現地サポート)

YMFG ZONE
プランニング

連携

肥後銀行

- 説明会・イベント企画運営
- 農業・農村の課題の把握
- 企業情報等の集約、管理
- マッチングに向けた伴走支援

- 事業内容の周知
- 農業・農村の課題の把握
- 企業等の発掘及び募集
- 地域情報の収集

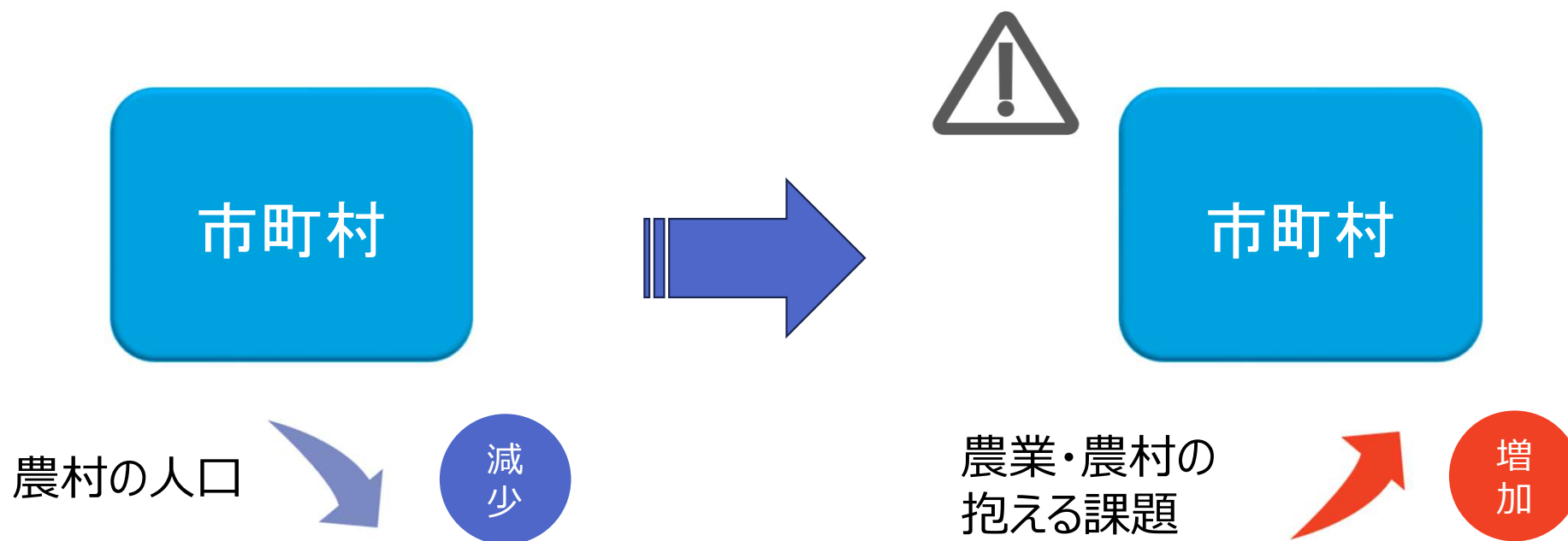
協力機関

熊本県内の
経営支援機関、公的機関等

マッチングイベントなどを通して6自治体の課題に対し41件（25社）から提案受付、31件（18社）の面談を実施、4件が令和6年度に事業実施へと至っている

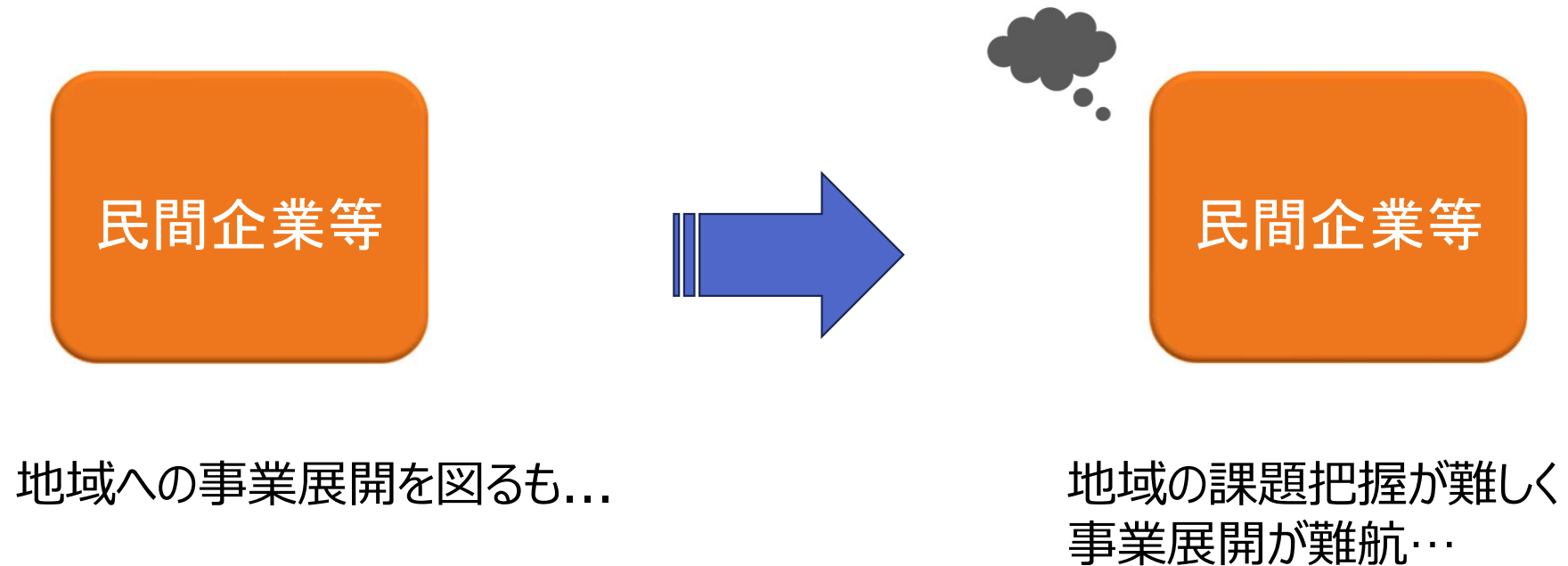
2. 事業概要説明

- 人口減少・高齢化に伴い、農業・農村について様々な課題が顕在化
- 市町村は農林水産部門のマンパワー不足により、課題の解決が難しいケースも存在



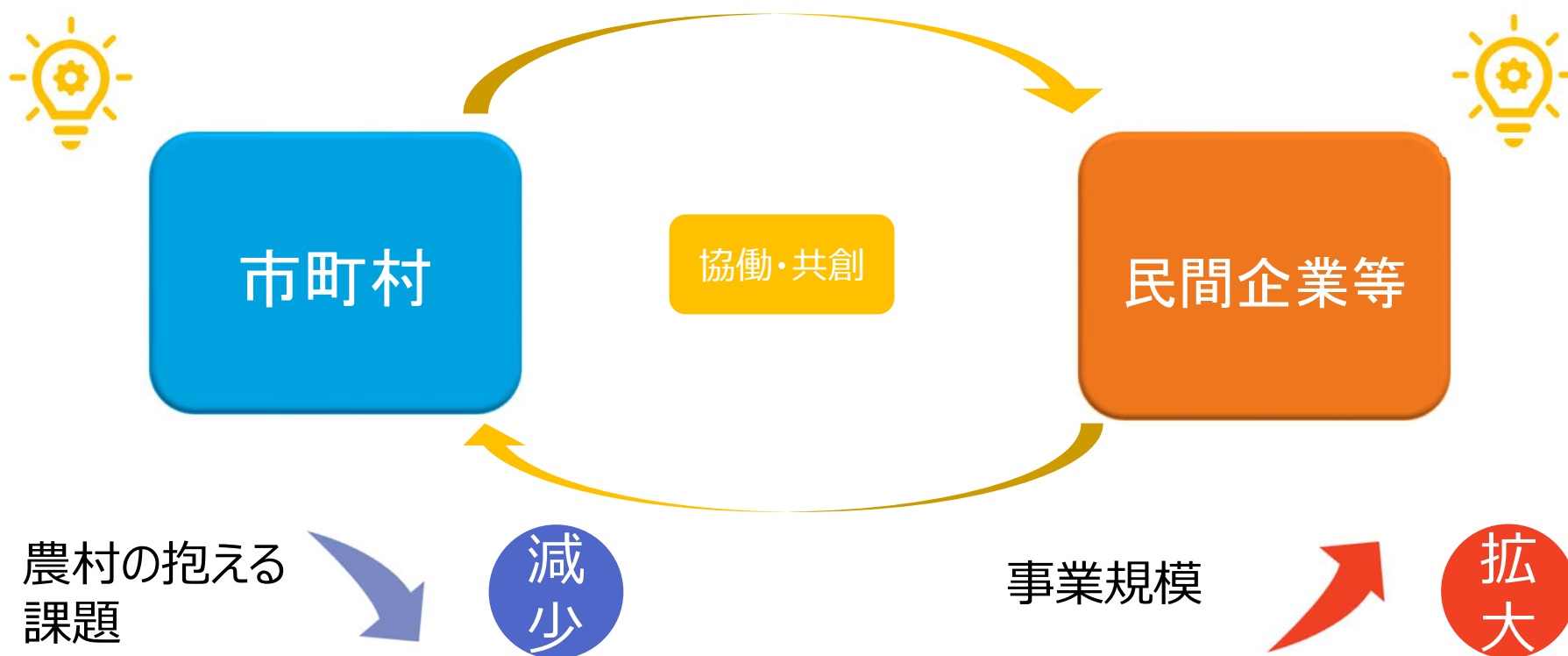
2. 事業概要説明

- 農業・農村地域の課題を正しく理解する必要があるが、難しいケースも



2. 事業概要説明

- 市町村の抱える課題をオープンにすることで、民間企業等のビジネスチャンスを創出
- 市町村の課題をビジネスチャンスと捉える企業とのマッチング、協働を通じて課題を解決



2. 事業概要説明

- 市町村と民間企業等とのマッチングに向け、市町村の抱える農業・農村に関する課題と民間企業等のソリューションを事務局が集約
- 事務局にて内容を確認し双方のニーズが合致したものから順次個別マッチング
- マッチング後は、事業化に向けて、事務局が、市町村と民間企業等の双方を伴走支援



- 事務局が両者を仲立ちすることで双方のニーズとソリューションを踏まえた実効性の高いマッチングを実現
- 事務局が伴走支援することで、マッチングした案件の事業化を実現

2. どのような課題を持ち掛ければ良いか？

検討ポイント

- ✓ 市町村内部での優先度が高い
- ✓ 長らく有効な施策が行えていない
- ✓ 他地域で優良事例が挙げられている

具体例

- ① 担い手不足をどうにかしたい
- ② 有害鳥獣への対策を取りたい

2. 具体例① 担い手不足をどうにかしたい

担い手不足に関する課題

- ✓ 繁忙期を支える熟練作業員を確保できず、生産活動を維持・拡大できない
- ✓ 閑散期の収益を確保するため、何か取り組みたい
- ✓ 売れ残りや規格外の農林水産物をやむを得ず廃棄している。フードロス削減や収益向上の観点から、加工等に取り組みたいが、ノウハウがない

解決策

- ✓ 誰でも農作業に関われるようにするために、スマート農業技術を導入する
- ✓ 農作業への参加を希望する個人と人手不足に悩む農家の情報を集約し、それぞれの希望が折り合う案件をマッチングさせる
- ✓ 農薬散布ドローンの操縦体験、疑似田植え体験、フィットネスとしての草刈体験等、観光客に非日常の体験を提供
- ✓ 開発・製造、販売に知見のある業者との連携により、六次産業化を促す

得られる効果

- ✓ 短期集中的な農作業に対応できるだけの人材を確保
- ✓ 農業、農作業を体験することで、興味、知見を持つ人口を増やし、関係人口の創出・拡大、将来の担い手確保を促す
- ✓ 六次産業化により、農村における高収益事業を形成し、持続的なビジネスモデルを構築

2. 具体例② 有害鳥獣への対策を取りたい

有害鳥獣に対する課題

- ✓ シカやイノシシ等の有害鳥獣が里に出没し、農作物を荒らしている
- ✓ 害獣の駆除や侵入防止のために設置している電気柵の破れ等をこまめに確認するための人手が足りない
- ✓ 駆除された害獣の処理が大変

解決策

- ✓ 遠隔操作可能な箱罠を設置し、作動状況を随時スマホに通知するシステムを整備する
また、IoT機器やセンサーにより、電気柵の通電状況を確認できる仕組みを普及させる
- ✓ ジビエやペットフードとして、駆除した有害鳥獣を加工処理
- ✓ 解体処理を観光コンテンツとして提供

得られる効果

- ✓ 新技術を活用することで、有害鳥獣対策を省力化できる
- ✓ 駆除した害獣の加工処理により、ジビエやペットフードとして活用、新技術を収益源とする
- ✓ 農山漁村体験により、有害鳥獣駆除に対する人々の関心や知見を高めるとともに、新技術を収益源とする

3. 官民共創による事例紹介

- ①農福連携モデルによる担い手創出、②DAOによる関係人口創出、
③ECサイト活用による販路開拓と認知度向上、④いぐさの全国PRとブランディング

3. 官民共創による事例紹介 ①農福連携モデルによる担い手創出

課題・背景

- ①障害福祉分野においては、高齢障害者の増加や国の方針による就労支援への投資などを踏まえ、要介護者に対する就労支援サービスの整備拡充が求められる
- ②地方部においては、人手不足を抱えており、農業従事者を始めとする人材が足りていない状況

企業概要

会社名：株式会社リハス

(<https://rehas.co.jp/>)

所在地：石川県金沢市広岡3丁目3-77

JR金沢駅西第一NKビル 6階

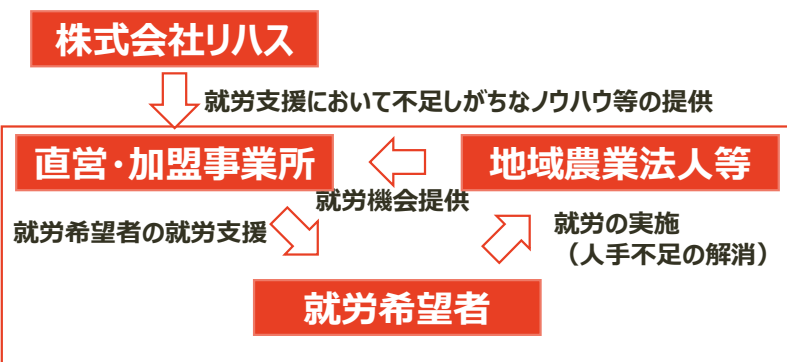
設立年月：2012年1月

- ✓ 訪問看護・リハビリステーション事業
- ✓ 障がい者就労支援事業
- ✓ 福祉施設と企業の業務マッチング事業



解決策・得られる効果

地域での要介護者向け就労継続支援サービス構築を通じた就労機会の創出による労働力の提供



市町村との連携実績など

- ✓ 同社の加盟店として生産活動を主とする就労継続支援B型事業所として「**リハスワーク熊本東**」が2023年6月1日に開設
- ✓ 上記は九州地区初の開設、自社製品としてヒノキチップの製造などを行うほか、業務委託として公共機関の清掃、軽作業を行う
- ✓ **農福連携**による就労支援施設として「リハスファーム豊田」を始めとする3つの事業所を開設
- ✓ 施設外就労では植え付け・水やり等の農作業を実施し、施設内就労では出荷調整作業等を実施

3. 官民共創による事例紹介 ②DAOによる関係人口創出

課題・背景

- ①農村地域の魅力を情報発信し、移住者などを増やしていきたいが、現行の情報発信手法によるPR効果が見えていない
- ②移住者増加への足掛かりとして関係人口を増やしていきたいが、コミュニティの形成などを含め何から手を付けるべきか見通しが立っていない

企業概要

会社名：株式会社あるやうむ

(<https://alyawmu.com/>)



所在地：北海道札幌市北区北38条西6丁目2番23

カトラン麻生302号室

設立年月：2020年11月

✓ キャラクターグッズの製作及び販売事業

✓ NFTを活用したWebサイトの構築及びコンサルティング

その他、自治体DAO事例紹介の無料個別セミナーをWEBミーティングにて実施（時間30分程度）

ご連絡先：haraikawa@mail.alyawmu.com（担当：稗川氏）

解決策・得られる効果

地域おこし協力隊によるDAO（分散型自立組織）運営を通じて農家と消費者、参加者を繋いだ生産、販売などの企画運営や関係人口創出を実現

株式会社あるやうむ

↓ 自社の人材リストを基に適任者を募集・選定
着任中のサポート実施・デジタル技術の提供

地域おこし協力隊

↓ DAOの運営

⇄ 協力隊としての着任（移住）

DAO

市町村

DAOを通じた農業企画・関係人口創出等

市町村との連携実績など

- ✓ 令和6年度より以下の2自治体において取組が開始
- ✓ 『**北海道余市町**』…令和6年4月より協力隊着任
- ✓ ふるさと納税寄付者と町のコミュニケーションを実現し関係人口を創出
- ✓ 『**鳥取県鳥取市（旧佐治村地域）**』…令和6年10月より協力隊着任予定
- ✓ 再生可能エネルギーを活用した農業振興、脱炭素推進を通じた地域活性化を図るとともに交流人口の創出を行う

3. 官民共創による事例紹介 ③ECサイト活用による販路開拓と認知度向上

課題・背景

- ①一次産業における生産物の販路について既存販路が大半を占めており、販売数が伸び悩んでいる
- ②地域の特産品などについて全国展開を検討しているが、販路が確立されていないため全国への十分なPRが行えていない
- ③農作業に追われており、インターネット販売や飲食店等の販路開拓が行えていない

企業概要

会社名：株式会社ビビッドガーデン
(<https://vivid-garden.co.jp/>)



所在地：東京都港区浜松町1-7-3 第一ビル4F

設立年月：2016年11月

問い合わせ先：080-4231-8415（担当田中氏）

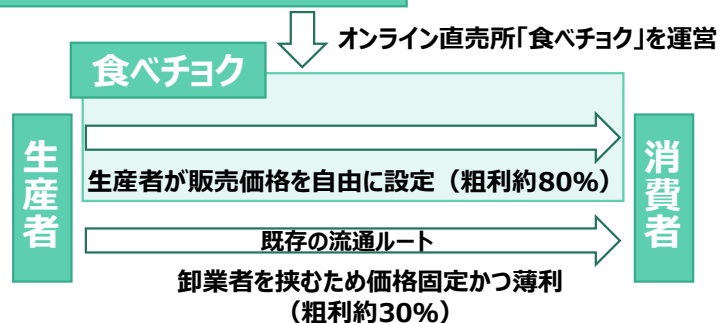
- ✓ 全国の生産者から食材や花などを直接購入できるオンライン直売所『食べチョク』の開発・運営



解決策・得られる効果

産地直送ECサイト「食べチョク」に出品することで全国の顧客にアプローチを実施

株式会社ビビッドガーデン



市町村との連携実績など

- ✓ これまでに90件以上自治体連携実績あり
(静岡県、佐賀県、群馬県、山梨県、大阪府等)
- ✓ 自治体連携において研修会や農家へのコンサルティング、EC上で販促キャンペーンやPRを目的とした特設ページの開設を実施
- ✓ 静岡県連携時の販売実績では**22日間に11,084件の注文**を受け付け、**販売額 約4,000万円**を実現
- ✓ 2022年**農林水産省送料無料事業対応**実績あり
(国産農林水産物等販売促進緊急対策事業)

3. 官民共創による事例紹介 ④いぐさの全国PRとブランディング

課題・背景

- ① いぐさの全国シェア96%を誇る熊本県においても、中国産畳・化学畳に押され、市場シェアが20%を割り込む状況になっており、いぐさの生産農家が500戸を割り込む状況になっていた
- ② 熊本県産畳のシェア回復のため、国産のいぐさを原料とする畳の効果的なPR手法が必要な状況であった

企業概要

会社名：株式会社ロボット

(<https://www.robot.co.jp/special/local/>)

所在地：東京都渋谷区恵比寿南3-9-7

設立年月：1986年6月

- ✓ テレビコマーシャルの企画・制作
- ✓ 劇場映画、アニメーション、CG、テレビ番組映像物の企画・制作
- ✓ グラフィックデザインの企画・制作
- ✓ ウェブサイトの企画・制作・運営 等



解決策・得られる効果

畳・イグサのブランドサイトを洗練された写真を中心として制作。更にPR施策第一弾として「食べられるお箸（畳味）」を開発

株式会社ロボット

IGSA PHOTOLOG



ブランドサイト制作、PR商品の開発

IGSA PROJECT

熊本県

プロジェクト開始から2か月で
継続的な情報発信が可能な状況に

熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会

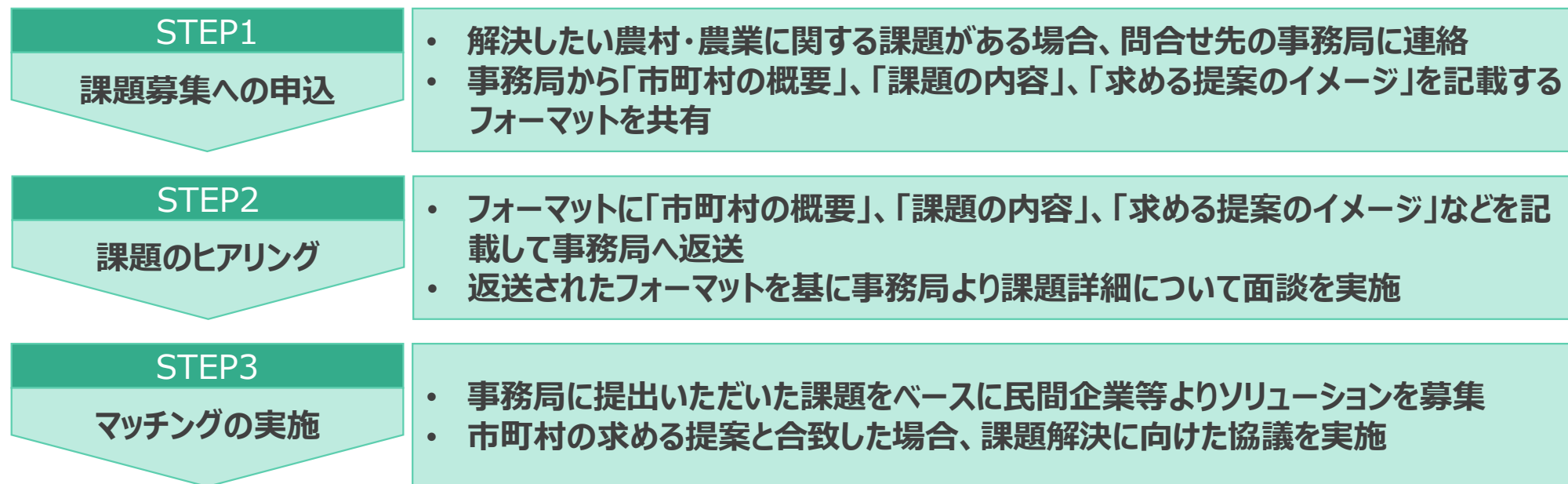
市町村との連携実績など

- ✓ 熊本県合志市映像クリエイター育成事業
- ✓ 『市民作家100人の育成』と『市民作家による地元の魅力発信』を目標にかかげ、熊本県合志市との共同プロジェクトとしてクリエイティブ塾をプロデュース
- ✓ 全国で活躍する現役クリエイター（映画監督、脚本家、CMプランナーなど）を講師として招聘、**地元のみなさんを中心に**幅広い地域から、プロアマ問わず生徒を募集し、セミナー形式の授業・実習形式の**創作活動サポート・起業支援を実施**

4. 今後の事業スケジュールについて

4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 以下のSTEP 1 ～ 3 の流れでマッチングをサポートします



官民連携のイノベーション創出による課題解決を実現

4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 以下のSTEP 1 ～ 3 の流れでマッチングを進めます

STEP1

課題募集への申込

- 解決したい農村・農業に関する課題がある場合、問合せ先の事務局に連絡
- 事務局から「市町村の概要」、「課題の内容」、「求める提案のイメージ」を記載するフォーマットを共有

【事務局】
YMFG ZONEプランニング



①事務局から課題入力フォーマットを市町村へメール案内

課題入力
フォーマットの
共有

【農村・農業に関する課題
を有する市町村】



4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 課題入力フォーマットのイメージは以下の通りです。

市町村の農業・農村課題	
市町村名 ※ 必須	※ 複数市町村で取り組む場合は、すべて記載ください。 〇〇町、△△市
課題の テーマ	※ 複数回答可能（いくつでも）
担当部署 ※ 必須	※ 担当が複数ある場合は、すべて記載ください。 〇〇課、△△グループ
課題の ジャンル ※ 必須	※ 複数思い当たる場合は、すべて記入ください。 例：人手不足、収益確保
背景・現状 ※記入必須	今後の施策方針 ※記入必須
【これまでの取組】 過去に、課題の対策として実施してきた取組等を記載ください。 （例：●について、県職員と、●年頃から●回▲▲を実施）	課題解決に向けた、市町村の取組方針を記載ください。 （例：●について、令和●年より●●事業を実施予定）
【状態】 地域で把握しているデータや聞き取り情報などあれば、記載ください。 （例：●地区の●氏から、●年●月ごろから、××の被害が年々増えているとの情報提供を受けている。）	【記載情報の利用目的と取り扱い】 ご記入いただいた情報（市町村名、担当部署、課題のテーマ、課題のジャンル、背景・現状のこと。以下、同じ。）については、本事業（令和6年度農山漁村振興交付金「農山漁村情報発信事業」）の円滑な実施のため、農林水産省、経済産業省、熊本県、マッチングを希望する民間企業に提供いたします。 上記の利用目的及び情報の取り扱いを確認のうえ、 右のとおり同意します。 ☐

4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 課題入力フォーマットのイメージは以下の通りです。（フォーマット続き）

取り組みたい課題解決策	
課題	求める提案のイメージ
課題1 農業従事者の不足 若年層が県外就職等で流出しており、現在の従事者の高齢化も進行していることから、後継者不在の農家の割合が増加している。	✓ 単純な農泊体験に留まらず、域外人材が就農したくなるような提案を行ってほしい ✓ 予算確保が可能となるのは令和〇年からで、それまでに継続的に協議を行いたい
課題2 地場の特産品である〇〇の生産量の減少 農業就業者の高齢化の進展、担い手不足、産地の縮小、耕作放棄地の増加により地場の特産品である〇〇の生産量の減少に歯止めがかからず、地場の特産品が消失する危機に瀕している。	課題解決のポイント ✓ どの地域でも今後人手不足は深刻化する見通しであり、専門性を持たない人材でも担える業務領域を増やす、ICTツール等を活用できる部分には導入を促進するなど、人手不足の社会に沿った支援体制の在り方も含めて提案してもらいたい。
課題3 若年層の域外への人口流出 少子高齢化の進行、地場産業の衰退により若年層の働く場を提供することが出来ず、進学・就職を期に若年層が域外に流出する	
取り組みたいこと	提供できるリソース等
✓ 生産効率を高めるデータ活用を実践することにより、産地の維持・復活、農産物のブランド化を目指す ✓ 農業体験ツアーの開催等により関係人口を拡大し、継続的な交流を続け、将来的には移住に繋げる ✓ 様々なステークホルダーが連携して地域の魅力を発信し、域内外の協力者も含めて地域のビジョンを描き、中長期的な協力関係を構築したい	✓ 交流促進に向けた地域の受入体制として地域おこし協力隊〇〇名との連携が可能 ✓ 農泊事業を実施した際の一棟貸しの宿泊施設が空いており、イベントスペースとして提供可能

4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 以下のSTEP 1 ～ 3 の流れでマッチングを進めます

STEP2

課題のヒアリング

- フォーマットに「市町村の概要」、「課題の内容」、「求める提案のイメージ」などを記載して事務局へ返送
- 返送されたフォーマットを基に事務局より課題詳細について面談を実施



- ①市町村情報や解決したい課題の内容を記載したフォーマットやその他補足資料（任意作成）を事務局宛に2024年6月28日までにメールで提出

課題入力
フォーマットの
提出

【農村・農業に関する課題
を有する市町村】



- ②提出されたフォーマットを基に課題の詳細について面談を行いヒアリングを実施

4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 以下のSTEP 1 ～ 3 の流れでマッチングを進めます

STEP3

マッチングの実施

- 事務局に提出いただいた課題をベースに民間企業等よりソリューションを募集
- 市町村の求める提案と合致した場合、課題解決に向けた協議を実施

【農村・農業に関する課題
を有する市町村】



課題について情報連携

【事務局】
YMFG ZONEプランニング



①市町村の課題情報
を共有し、ソリューション
を募集



②解決したい市町村
の課題に対して提案を
申込



【民間企業等】

地域企業、
スタートアップ企業、
フリーランス

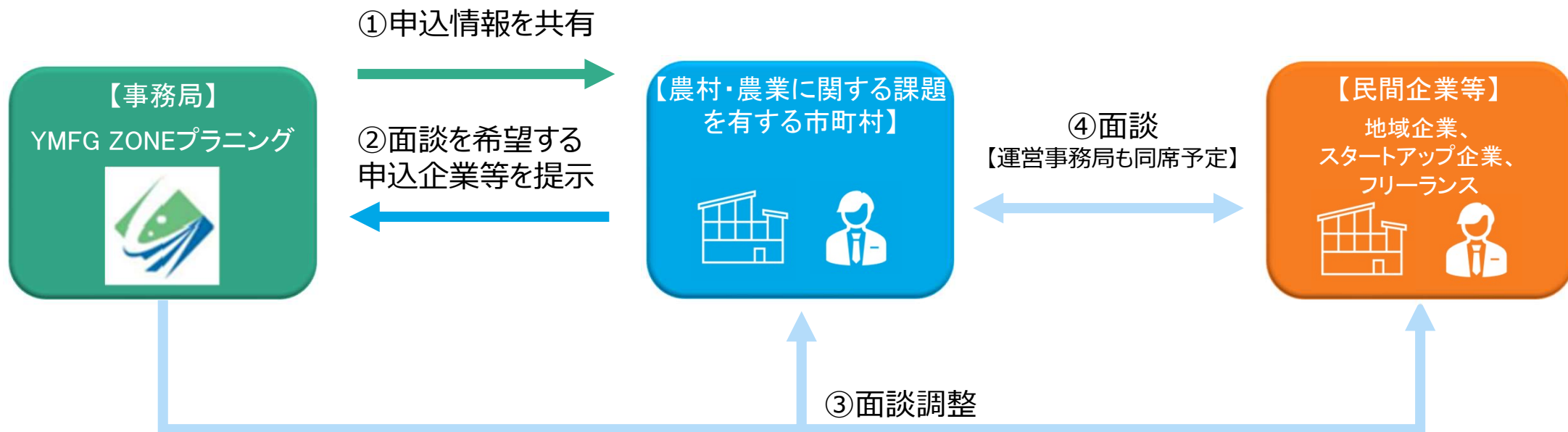


4. 今度の事業スケジュールについて説明

- 以下のSTEP 1 ～ 3 の流れでマッチングを進めます

STEP3 マッチングの実施

- 事務局に提出いただいた課題をベースに民間企業等よりソリューションを募集
- 市町村の求める提案と合致した場合、課題解決に向けた協議を実施



4. 今度の事業スケジュールについて説明

農村・農業の課題について記載フォーマットのご提出やお問い合わせについては、下記の事務局の連絡先までお願いいたします。



担当者 : 植木、末金

電話番号 : 080 - 4901 - 9081

メールアドレス : nouson@ymfg.ym-zop.co.jp

5. 事業参画に関する質疑応答

**以上で本説明会を終了いたします。
ご参加いただきまして誠にありがとうございました。**

**明日事務局よりフォーマットをご案内
いたしますので、事業への参加のご検討、
フォーマットのご返送をお願いいたします。**

アンケートへのご回答もお願いいたします。

農山漁村情報発信事業 市町村向け
事業説明会終了後アンケート

